



「いたみ外来」ってどんなところ？

麻酔科 薛 隆生



はじめまして。

この度「いたみ外来」を開設させて頂くことになりました。

あまり馴染みのない言葉だと思いますが、その名の通り、「痛み」を専門にする科になります。今回はいたみ外来についてご紹介したいと思います。

①どんな痛みを診るの？

痛みが出るような病気は、3ヶ月くらいの治療で治ることが多いのでそれ以上続く痛みが主に対象になります。その他に、3ヶ月経っていなくても原因がわからない痛みや痛み止めが効かない痛みなども診ます。

言い方を変えると、専門と思われる科(腹痛なら消化器内科、歯なら歯科など)に相談してもわからない、治らないと言われた痛みであれば基本的に対象になります。肩こり、頭痛、腰痛のようなよくある痛みも診させていただきます。



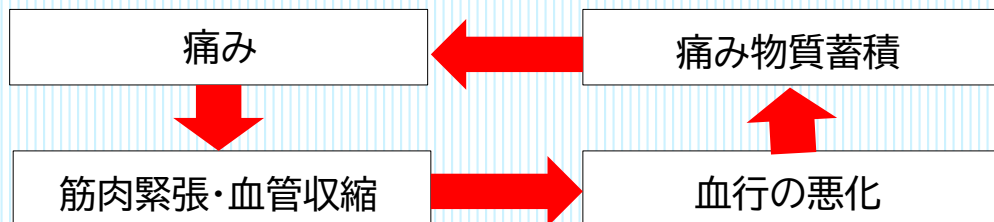
②どんな治療をするの？

「いたみ外来」では他の科ではあまり使わないような痛み止めや漢方薬も使います。また、神経ブロックという、いわゆる麻酔の注射も行います。それぞれに利点がありますが、患者様のご希望を聞きながら、お一人おひとりに合わせたオーダーメイド治療を行いますので、注射が苦手な方や薬を飲むのが苦手な方でも安心してお越しくください。



③痛みが取れても病気は治らないんじゃない？

確かに痛みが取れても元の病気は治りません。ただ、痛みが続くと、以下のような痛みの悪循環に陥ります。そうすると最初より強く痛みを感じたり、元の病気は治っているのに痛みを感じたりします。「いたみ外来」では、この痛みの悪循環を断ち切り、正常な状態に戻すことで、「痛み」という病気を取り除くことを目標にしています。



いかかでしょうか？痛みでお困りの方は是非一度「いたみ外来」へご相談ください。

日本内視鏡外科学会「技術認定医」に合格されました！

この度、当院外科の谷尾医師が日本内視鏡外科学会「技術認定医」(大腸)に合格されました。

内視鏡手術は、患者の身体的負担が少ないなどの利点が多くあるものの、高度な技術が要求される手術です。この日本内視鏡外科学会技術認定制度とは、日本内視鏡外科学会が認定している制度で、同学会の規則により、「各学会の定める専門医制度とは異なり、各関連領域において内視鏡手術に携わる医師の技術を高い基準に従って評価し、後進を指導するに足る所定の基準を満たした者を認定するもので、わが国における内視鏡外科の健全な普及と推進を促し、延いては国民の福祉に貢献することを目的とする。」と定められております。2004年度から始まった制度であり、その審査方法は、手術中に体内の様子を撮影した未編集ビデオを提出し、2人以上の審査員が切除や縫合の仕方、安全性などを評価します。例年、審査の合格率は2～3割程度と低く、最難関の一つと言っても過言ではありません。谷尾医師は、これからは後輩の育成にも力を入れていきたいと語っておられました。当院では患者さんに合わせた治療を行っていきけるよう、日々研鑽を行ってまいります。



新任医師紹介

消化器内科

なかだ ゆうすけ
中田 裕資 先生



本年度より赴任いたしました、消化器内科の中田裕資と申します。前年度まで日南病院でプライマリーケアを中心に診療しておりました。何卒よろしくお願い申し上げます。

消化器内科

はしもと たけし
橋本 健志 先生



この度、松江市立病院から赴任しました。消化器内科(特に消化管分野)を専門としております。久々に地元である鳥取県東部での勤務となりました。何卒よろしくお願い申し上げます。

糖尿病・内分泌内科

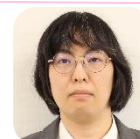
うねだ まさこ
畝田 雅子 先生



平素より大変お世話になっております。今年度より鳥取赤十字病院で勤務いたします、畝田と申します。何卒よろしくお願い申し上げます。

小児科

こばやし ゆきこ
小林 裕貴子 先生



小児科領域全般、特に私自身関心を持っている感染症とアレルギー疾患に力を入れていきたいと思っております。東部圏域の小児治療に貢献できるよう、頑張ります。何卒よろしくお願い申し上げます。

整形外科

かとう たかゆき
加藤 孝之 先生



この度、鳥取赤十字病院で働かせていただくことになりました整形外科の加藤孝之です。誠心誠意努めてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

歯科口腔外科

やすだ りゅうや
安田 竜弥 先生



大学卒業後、地元の歯科医療に貢献したく鳥取大学病院で研修終了後、こちらに赴任してきました。多々慣れないこともありますが、誠心誠意頑張りますのでよろしくお願いいたします。